

地域元気に 腕まくり

特産づくり直売所拠点

活気が失われつつある地域を元気にしようと、住民や商店主らが踏ん張っている。

(佐野登、松永佳伸)

伊勢市 横輪町

伊勢市横輪町の住民でつくる「横輪町活性化委員会」(岡惣松会長)が22日、農林水産省の「豊かなむらづくり全国表彰」で東海農政局長賞を受賞した。町民97人全員が会員となり、町の地場産品直売所「郷の恵・風輪」を拠点に活性

化策に取り組み、来訪者が増えていることが評価された。

横輪町は市南部の中山間地域に位置し、65歳以上の高齢者が約4割を占める。過疎化や高齢化が進み、「このままでは地域が崩壊するかもしれない」との危機感から、2002年、住民7人が委員会を立ち上げた。

同町には古くから横輪桜や横輪芋、防風のための石垣など、特色ある資源に恵まれている。委員会らは、桜まつりやホテルの観賞会を開いたほ

か、横輪芋の栽培と商品化、五平餅をヒントにした「御平家餅」などの特産物を開発し、直売所で販売を始めた。

また、地域ぐるみの地図も作製し、来訪者が年々増加。昨年度は約7万5千人が直売所を訪れ、売上額は1667万円に達した。地域への経済的メリットにとどまらず、横輪芋の増産による耕作放棄地

の減少や住民の自主的な環境整備による景観の保全、高齢者の生きがいづくりなどにつながっているという。

今後は、県立明野高校の協力を得て、横輪芋を使った加工食品の開発にも取り組む予定。岡会長は「受賞を起爆剤として、地域全体が元気になるように頑張っていきたい」と話した。



①東海農政局長賞を受賞した横輪町活性化委員会のメンバーら②特産の横輪芋=いずれも伊勢市横輪町